

100mm

C'

100mm

B'

97mm (内側に折り込む面)

A'

暮らしの知恵

変わりつつある日本の『梅雨』と梅雨の活用方法？

北海道でも…

日本の梅雨は、沖縄から始まり、本州では6月上旬から中旬に始まり約40日続きます。しかし近年、温暖化の影響で全国的に気温の上昇が早くなりつつあります。気温が上昇すると、梅雨前線の発生が早くなるとともに、梅雨の期間を長引かせる原因になってしまいます。

気象庁が集めているここ100年のデータでも7月中旬～下旬の降水量は約60%も増加しているようです。

梅雨がないと言われていた北海道でも、梅雨のような気候が続く日もあり、今までの『梅雨』の常識が変わりつつあるのかもしれません。

実はお掃除にはベスト

雨が続き、ジメジメとした湿気が多くなりがちな梅雨シーズン。

しかしこのタイミングは、普段なかなか手が回らないベランダや玄関ポーチなど、“家の外回り”のお掃除にはぴったりなのです。

実は湿気は、頑固にこびりついた汚れを柔らかくして落としやすくしてくれます。特にベランダや玄関ポーチなど、直接雨で濡れている場所は一層汚れがゆるんでいます。わざわざバケツやホースで水を撒く手間もないので、いつもより楽にお掃除できるタイミング。

また晴れた日に舞いやすいホコリや



ハウスダストも、湿気によって抑えられます。ベランダのような、細かい砂ぼこりがたまりやすい場所の掃除にはうってつけです。

今年は梅雨のシーズンを上手に活用してお家をキレイにしてみたいはかがですか？

カラダすっきり! イキイキ! 健康サプリ

普通のごぼうと違う? 新ごぼうは期間限定野菜

通常の「ごぼう」と「新ごぼう」は、品種は同じで、収穫する時期が違うだけ。通常のごぼうより早い2~6月に収穫されるのが特徴で、初夏に旬を迎えます。

新ごぼうの魅力は、優しい香りと柔らかさ。冬のごぼうは土の匂いが強く、食感は硬めですが、新ごぼうはシャキシャキとした歯応えはありながらもやわらかく、香りも穏やかです。

新ごぼうには甘みがあるので、ささがきにしてさっと茹でてサラダにすると本来の味を楽しめます。特に、マヨネーズとの相性が◎ また、パスタにするのもオススメです!



今の子ども達には必要だと思い、稽古前に、縄跳びやフープ、お手玉を使った運動あそびを取り入れていますよ!

副館長 浅川 正堂



道場HPはコチラ



道場Instagramはコチラ



双柳館 浅川道場 岐阜市野一色 4-8-1

双柳館 浅川道場 館長 浅川 裕 茲



お問い合わせは

058-247-3676

「学校は社会性を身に付ける場」とも言われ、確かに、人は学校や社会の生活で他者との関わり方を身に付けます。ただ、私が子ども達に最も体験してほしい事は、他者と心が通じ合って「嬉しいなあ」「心地よいなあ」という経験です。こうした経験が我々人間の感性を育て、豊かな感情が生まれるのです。最近、非認知能力という言葉が注目されています。かつては、子どもの学力や運動技能といった認知能力の向上が、重点的に取り上げられていたと思うと良いことだと思えます。しかし、子ども達の心の揺れ動きをしっかりと見つけ、育てなければ、非認知能力も本質を失い、表面だけの社会的スキル「愛がない」「心がない」となるでしょう。子ども達の心を耕すのが、子育てと教育との根幹です。私たちは剣道を通じて、子ども達の心を耕し、つよく豊かな日本人に育てます。

しかし、その機会が過ぎれば、笑顔で稽古していません。他の競技やスポーツでも試合では真剣に戦い、試合後には駆け寄り寄って笑顔で握手しています。そのような姿を想像していただければ良いです。本気でぶつかり合うにも関わらず、どうして、すぐに笑顔で触れ合えるのでしょうか。最も肝心なことは、「心が通じる」という感覚です。この感覚があると、勝つても負けても、打つても打たれても、「楽しかったあ」という気持ちになるものです。反対に心が通じないままだと、如何なる内容や結果であっても「良かった」「楽しかった」とは思えないもので、正に感情のぶつけ合いです。



私、登田が通う剣道の師匠に、日ごろ子供達へお話ししている徒然を書いて頂いています。

子どもは心が通じる体験を以って、真に豊かに育つ。5月3日より道場にて二泊三日の合宿を行いました。寝食を共にし、心の距離が縮まると稽古の様子にも変化が見られます。試合稽古や体力的に厳しい稽古の時に、互いに応援する声がよく聞こえるようになるのは想像しやすいでしょう。一方で、仲が良くなると、より本気で、ぶつかり合うようにもなります。闘志を表に出して競うので、見慣れない方は「怖さ」を感じるかもしれません。